

## IV 校内研究推進計画

### 1 研究主題

#### (1) 研究主題・副題

**表現力を育成する理科・生活科学習の創造**  
**～学習の基盤となる資質・能力の向上を図るカリキュラム・マネジメントを通して～**

- 本校における「表現力」とは  
理科，生活科のみならず，汎用的な表現力として次のように設定した。

1・2年	3・4年	5・6年
<ul style="list-style-type: none"><li>身近なことや経験したことなどから，自分の思いや考えを持つ。</li><li>相手に伝わるように，事柄の順序を考えて表現する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>目的を意識して，自分の思いや考えをまとめる。</li><li>相手に伝わるように，理由や事例を挙げながら伝えたいことの内容が明確になるように構成を考えて表現する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>目的や意図に応じて，自分の思いや考えを広げる。</li><li>内容が明確になるように，事実と感想・意見を区別するなど，構成を考えて表現する。</li></ul>

- 本校における「学習の基盤となる資質・能力」とは  
次の3点について，教科等横断的な視野に立って育成する。
- 言語能力 : 国語科を要しつつ，全ての教科等において，それぞれの特質に応じた言語活動を通して育成する能力
- 情報活用能力 : 情報及び情報技術を適切，且つ効果的に活用した学習活動等を通して育成する能力
- 問題発見・解決能力 : 問題を見出し解決していく過程を重視した学習活動等を通して育成する能力

#### (2) 昨年度研究の成果と課題

昨年度研究の成果と課題は，次の通りである。

##### ①成果

- 指導者が意図的・計画的にカリキュラム・マネジメントを意識して指導することによって，児童一人一人のノートや発言，アンケートなどの見取りや分析から，児童と教師共に学びをつなげようとする意識が高まった。
- まとめのノートを書かせることで，児童は大事なことを落とさないで表現したり，学んだことを関係付けたりしてまとめる力が高まった。このことが単元末テストの結果につながった。
- 授業設計評価マトリクスを作成することで，児童一人一人を想定し，支援のための手立てが具体化され，すぐに適切な手立てを講じることができた。また，それを他教科での手立てにも生かすことができた。

##### ②課題

- 目的意識や課題把握を明確に持てていない児童がいる。
- テストではある程度の定着が見られるが，表現する場面において，相手意識や目的意識を持ち，伝えたいことの内容を明らかにしながら，筋道立てて表現する力が十分でない。
- 知識・技能における既習事項（前学年までを含む）の定着が不十分なため，それらを用いて表現することが難しい児童がいる。

#### (3) 研究主題の設定理由

本校の課題から，児童が主体的に問題発見・問題解決する中で，理科・生活科固有の資質・能力及び学習の基盤となる「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」を育成することを通して，表現力の向上を図ることが必要であると考えた。そこで昨年度に続き，本年度の研究主題を「表現力を育成する理科・生活科学習の創造」とし，サブテーマを～学習の基盤となる資質・能力の向上を図るカリキュラム・マネジメントを通して～と設定した。中学校区で連携しながら9年間を見通したカ

リキュラム・マネジメントを行うと共に、児童が教材や他者と関わり合いながら問題発見・問題解決することを通して、自らの考えを持ち、論理的に表現すると共に、考えを広げたり、深めたりする学習活動として展開させていく。

#### (4) 研究のねらい

向島中学校区で連携しながらカリキュラム・マネジメントを行うことを通して9年間を見通した教育活動を行うと共に、理科、生活科及び総合的な学習の時間を主軸としたカリキュラム・マップの活用・改善や資質・能力を育成するための単元を貫いた課題の設定を行い、生活経験や既習事項が活用できる場を工夫した授業づくりを通して、児童が学んだことを論理的に表現する力を育成する。

#### (5) 研究仮説

- ①向島中学校区で9年間を見通したカリキュラム・マネジメントを行うことで、表現力が高まるであろう。
- ②学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図るための効果的なカリキュラム・マネジメントを行うことで、表現力が高まるであろう。

#### (6) 研究内容（研究の方向）

##### ①向島中学校区での小中連携

- ・令和2年度文部科学省の指定を受け、「これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方」研究、取組の中で指導してきた教育活動全般や表現力の系統、ふりかえりの書き方などの深化・発展を行うと共に、総合的な学習の時間の年間指導計画に系統性を持たせることで、9年間を見通したカリキュラム・マネジメントを推進する。

##### ②年間指導計画（理科・生活科カリマネマップ）の活用と改善

- ・理科・生活科カリマネマップにおいて、学習の基盤となる資質・能力（「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」）及び理科・生活科における資質・能力（「知識及び技能及びその基礎」「思考力、判断力、表現力等及びその基礎」「学びに向かう力、人間性等及びその基礎」）を育成するために、その単元で育成する資質・能力を明らかにする。
- ・理科、生活科及び総合的な学習の時間を主軸としたカリマネマップを活用し、見通しを持ちながら教科等横断的な学習をしたり、必要な物的資源・人的資源を確保したりするとともに、学期末にカリマネマップの修正・改善をすることを通して、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを行う。

##### ③資質・能力育成のための単元構想

- ・常に問い直し、答えが更新されていくことで持続した学びとなるよう本質的な問いを設定し、それを基に単元全体を貫く問いを設定することを通して、児童が自ら問題を見出し、主体的・協働的に問題解決に向けて追究していく学習者基点の単元構想を設定する。
- ・児童同士の協働、教職員や地域の方々との対話、既習事項や先哲の考え方を手がかりに考えながら問題を解決する活動を通して、自己の考えを広げたり、深めたりしたことを表現する場を設定する。

##### ④授業設計評価マトリクスを活用した指導と評価の改善

- ・授業設計評価マトリクスの作成により、単元や本時のねらいを達成した児童の具体的な姿を明確にする。4段階のレベルで児童一人一人の姿を予測し、それぞれの段階に応じた教師の支援や助言をあらかじめ複数準備する。
- ・生活事象について、学習したことを用いて説明する場を設定し、学習した科学的事象が生活の中に深く関わっていることに気付かせる。
- ・表現する場を意図的・計画的に設定することで、児童が学びを広げたり深めたりすることができる対話的・協働的な活動を取り入れる。

##### ⑤素地となる基礎学力の向上

- ・日々の授業及び補充学習を通して個別最適化した学びを行い、基礎的・基本的な学習の素地となる国語科・算数科の基礎学力を向上させ、相互に活用できるようにしていく。

#### (7) 検証の指標

- ①児童は各単元において児童が自ら問題を見出し、主体的・協働的に問題解決に向けて追究しようとしていたか。（評価補助簿）
- ②児童は発達段階に応じて論理的に表現することができていたか。（まとめのノート・成果物）

- ③児童が主体的に問題発見・課題解決を行い、持続した学びとなるような単元構想及び本時のねらいを達成することができていたか。(授業設計評価マトリクス)
- ④主体性・表現力の素地となる基礎学力は付いているか。(国語科・算数科・理科における、思考力・判断力・表現力等を問う単元末テスト)

(7) 到達目標

- ①理科・生活科における各単元の主体性B評価以上の児童割合 80%以上
- ②まとめのノートや成果物におけるB評価以上の児童割合 80%以上
- ③授業設計評価マトリクスにおけるレベル3以上の児童の割合 85%以上
- ④思考力・判断力・表現力等を問う単元末テスト問題通過率80%以上の児童の割合 80%以上

2 研究計画

月	日	曜	研究内容	講師
4	5	火	○理論研修(担当:研究主任) ・令和3年度の研究内容について ・令和4年度の研究の方向性について ・本校児童の学力について ・単元構想図, 指導案, 授業設計評価マトリクス ・令和4年度授業研究年間スケジュール決定 ○タブレット研修(担当:情報担当) ・Chromebookの使い方とクラスルームについて	
	7	木	○理論研修(担当:教務主任) ・学習評価に関わる研修・補助簿について	
	15	金	○授業研究について(担当:研究主任) ・令和4年度校内授業研究年間スケジュール決定	
	20	水	○小中連携 ・中学校区において15歳で目指す子供の姿 ・育成したい資質・能力について	
5	6	金	○理論研修(担当:研究主任) ・理科単元構想図検討(4年) ○生活科ワークシート, 理科ノート交流	
	19	木	○理論研修(担当:研究主任) ・理科指導案検討(4年)	
6	2	木	○授業研究・協議会(担当:研究主任) ・理科授業研究(4年) ○理論研修(担当:研究主任) ・河川教育について	日本河川教育学会 金沢 緑先生
	9	木	○生活科ワークシート, 理科ノート交流 ○個人研修 ・授業改善	
	16	木	○理論研修(担当:研究主任) ・理科単元構想図検討(3年) ※授業者:研究主任	
	30	木	○理論研修(担当:研究副主任) ・理科指導案検討(3年)※授業者:研究主任	
7	7	木	○生活科ワークシート, 理科ノート交流 ○個人研修 ・1学期評価	
	11	月	○授業研究・協議会(担当:研究副主任) ・理科授業研究(3年)※授業者:研究主任	広島大学大学院 木下博義先生 尾道市教育委員会 指導主事
	21	木	○ブロック研修(担当:教務主任) ・カリキュラム・マップ修正・改善	
	27	水	○理論研修 ・生活科・理科単元構想図検討(1年)(5年)	
	29	金	○理論研修(担当:研究主任) ・授業公開について ○理論研修(担当:総合担当)	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期総合的な学習の時間の成果と課題</li> <li>・総合的な学習の時間ブラッシュアップ</li> </ul>	
8	2	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・授業研究単元構想図検討 2年・6年</li> <li>○個人研修</li> <li>・指導案作成・予備実験</li> <li>・授業公開会掲示物作成</li> </ul>	
	3	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・生活科・理科指導案検討 (1年) (5年)</li> </ul>	
	22	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・授業公開指導案検討 2年・6年</li> <li>○理論研修 (担当: 教務主任)</li> <li>・2学期の重点課題</li> </ul>	
	24	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人研修</li> <li>・授業公開指導案修正</li> <li>・予備実験</li> </ul>	
			○小中連携	
9	1	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人研修</li> <li>・授業公開掲示物作成</li> </ul>	
	8	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・指導案最終確認</li> </ul>	
	15	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業研究・協議会 (担当: 研究主任)</li> <li>・生活科・理科指導案検討 (1年) (5年)</li> </ul>	日本河川教育学会 金沢 緑先生
	29	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・授業公開に向けて</li> <li>○生活科ワークシート, 理科ノート交流</li> </ul>	
10	6	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・研究の提案について</li> </ul>	
	20	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブロック研修</li> <li>・授業公開細案作り・教室掲示完成</li> </ul>	
	27	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科ワークシート, 理科ノート交流</li> <li>○ブロック研修</li> <li>・授業公開改善案模擬授業</li> <li>・教室掲示完成</li> </ul>	
11	4	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・授業公開全体シミュレーション</li> <li>・研究報告プレゼン</li> </ul>	
	10	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業公開</li> <li>・研究授業 2年・6年</li> <li>・分科会</li> </ul>	日本河川教育学会 金沢 緑先生 広島大学大学院 木下博義先生 尾道市教育委員会 指導主事
	24	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・授業公開 (成果と課題)</li> <li>○生活科ワークシート, 理科ノート交流</li> </ul>	
12	1	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人研修</li> <li>・2学期評価</li> </ul>	
	15	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・理科単元構想図検討 (3年)</li> </ul>	
	26	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 総合担当)</li> <li>・2学期総合的な学習の時間の成果と課題</li> <li>・総合的な学習の時間ブラッシュアップ</li> </ul>	
1	5	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・理科指導案検討 (3年)</li> </ul>	
	12	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人研修</li> <li>・来年度教育計画作成</li> </ul>	
	19	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論研修 (担当: 研究主任)</li> <li>・○○科指導案検討</li> </ul>	

			(自閉症・情緒障害特別支援学級)	
	24	火	○授業研究・協議会(担当:研究主任) ・理科科授業研究(3年)	広島大学大学院 木下博義先生
2	9	木	○理論研修(担当:研究主任) ・○○科授業研究 (自閉症・情緒障害特別支援学級)	尾道特別支援学校 地域支援・ 教育相談主任
			○小中連携	
3	2	木	○理論研修(担当:研究主任) ・研究のまとめ	